

さらしな堂の新刊！

# 地名遺産 さらしな

～みやこびと都人のあこがれ、そして今

長野県千曲市が  
「月の都」となった  
メカニズムも解明！

## 純白のさらしな

# 「さらしな」は世界文化遺産級！

冠着山（姨捨山）のふもとに今も！

本書は「さらしな」という地名にこだわります。長野県千曲市の冠着山（姨捨山）のふもとにあります。「姨捨」というと、重要な文化的景観の棚田が有名ですが、本書では棚田が有名になる前の「さらしな」という地名にこだわります。「さらしな」には、天皇家をはじめ奈良・平安の古代から日本人が「白」という色彩に抱いていた伝統的な美意識が凝縮しているからです。都人たちの強烈なあこがれ「さらしな」の昔と今を紹介し、「さらしな」という地名が世界の文化遺産であることを明らかにします。



A 5判並製カラー、112 ページ、価格 1000 円

### 目次

- 1 プロローグ・世界文化遺産級の地名  
京都御所にある「さらしなの里」
- 2 平安時代の日記文学のタイトルに  
「百人一首」 選者のさらしなへの思い入れ
- 3 「さらしな」をライバル視した豊臣秀吉
- 4 天皇家の宝物になった「更級日記」
- 5 さらしなの里で癒された天皇家の皇子  
松尾芭蕉があこがれたさらしなの月
- 6 さらしなに「清浄」をイメージした句碑
- 7 「花の吉野」と並ぶ「月のさらしな」
- 8 各地に広まった地名「さらしな」
- 9 「更級」を苗字にした人
- 10 「さらしな」に純白をイメージした和歌  
そばの名前に採用された「さらしな」
- 11 日本の美意識が凝縮したさらしなの和歌
- 12 さらしなの恩人、塚田小右衛門さん
- 13 清澄さ強調した更級小学校校歌
- 14 さらしなの聖地、郷嶺山
- 15 LADY SARASHINAとして世界に  
さらしなの里の文化団体「更級人風月の会」
- 16 エピローグ・地名遺産のメカニズム

の地名

写真盛りだくさん、漢字にはレゾ、Q&Aも！